



## 国際交流員カロリンのコラム

### ドイツ人がムキになる時 Wenn es ernst wird (ヴェン エス エルンスト ヴィアト)



ヨーロッパでは、「ドイツ人はすぐにムキになる」と言われています。私自身もその通りだと思います。どんなときにムキになるのかというと、勉強でも仕事でもなく「Spieleabend (シュピーレアベンド、ゲームの夕べ)」のときです。Spieleabendとは、夜集まってゲームをすることです。特に夏は夜でも明るいので、庭で夕食を食べて、そのまま家族や友達とゲームをします。

みんなは、「負けたくない!」という意気込みでゲームをするので、盛り上がってくると勝ち負けにこだわります。ルールをきちんと守ったうえで、手加減はしません。もしも、ルール違反にはならない程度のずるいことをされたら、仕方ないのでぐっと我慢します。

ドイツ人は、普段の生活ではあまり意地悪を言わないし、自分より相手を優先します。でも、ゲームのときには遠慮することなく、意地悪な冗談を言ったり、素直に自分の感情を出したりできるので、思い切りはしゃぎます。ゲームの最中に飲み物を取りに行こうものなら「ちょっとどこに行くの! 順番が来ちゃうよ!」と冗談半分に引き留められます。

でも、やはり一番大切なのは楽しい時間を過ごすことです。



ドイツで人気があるゲームは、タブーゲームです。カードを1枚引くと、そのカードには、みんなに言い当てて欲しい言葉と、そのヒントに使ってはいけない5つの言葉が書いてあります。例えば、当てて欲しい言葉が「手」で、ヒントに使ってはいけない言葉が「指」「親指」「手袋」「腕」「手のひら」です。早く言い当てた人の勝ちなので、みんなはヒントを楽しみに待っています。待たれていると、ヒントを出す側は焦ってしまうので、余計に頭を使います。

子どもの頃、学校でもゲームをやりました。「Stadt (シュタット、市)、Land (ランド、国)、Fluss (フルス、川)」というゲームです。アルファベットを1つ選んで、その文字から始まる市、国、川、名前、動物、職業を自分で作った表に書いていきます。例えば、Sを選んだら、下野市、スイス、セーヌ川、関さん、サル、先生でクリアできます。

大学生の頃は、よくクニッフェルというサイコロゲームをやりました。5つのサイコロを使って特別な組み合わせを作るゲームです。例えば、4の目が3つと3の目が2つ揃うとフルハウスになって25点がもらえます。

13回ずつサイコロを振ることができて、合計得点が一番高い人が勝ちです。確率の他に、運に左右されるので、小学生でも大人と一緒に遊べると思います。

皆さん、実際に、ドイツのゲームをドイツ人とやってみたくありませんか? 今月、チャンスがあります! ぜひ28ページ「ドイツのゲームで交流しませんか」をチェックしてくださいね。



## ドイツの大学生と一緒にふくべ細工を作ってみませんか!

8月下旬にドイツのミュンヘン大学生8名が日本文化体験等のために来日し、市内で約2週間ホームステイをします。

その期間中、大学生と市民の方が伝統工芸ふくべ細工と一緒に体験する交流会を開催します。本市の特産品であるかんぴょうを使ったふくべ細工を作りながら楽しい時間を過ごしてみませんか!

- 日時 8月27日(火) 午後2時~4時
- 場所 市民農園クラブハウス
- 定員 10名
- 参加費 500円(1人1作品)
- 申込期間 8月8日(木)~16日(金)
- 申し込み・問い合わせ先  
市民協働推進課 ☎(32)8887



### TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。  
ご協力いただける場合は総合政策課☎0285 (32) 8886情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ  
市ホームページ

